

【里山里海共生産業セミナーを開催】

里山里海の持つ価値が見直され、地域住民の手による日常的な保全・梨活用が求められており、里山里海に暮らす人々の生活を支え、自然と共生するための産業の創出をめざし「里山里海共生産業セミナー」を開催。

概 要

○日 時：平成21年10月27日（火）13時30分～16時45分

○場 所：石川県庁1102会議室

○入場者：約90人

○主 催：石川県、(財)石川県産業創出支援機構

○内 容：講演（講師2名）

事例紹介（石川県内の先進事例紹介（3事例））

講演は、(株)ユニバーサルデザイン総合研究所の赤池学所長の「里山里海の資源を活用したものづくり」と、里地ネットワークの竹田純一事務局長の「里地里山の再評価、ツーリズム、生業の事業化」と題して、昔の里山里海の様子やそこから得られるビジネスのヒント、里山里海の資源の可能性などについて、事例を交えた講演があった。

事例紹介は、石川県内の先進事例として、「(有)花座」の能登産榊の商品化、「NORAバイオエコのと」の木質・茅ペレットの活用、「能美の里山ファン倶楽部」の多様な主体（市民・行政・NPO・企業等）の参画による里山保全などについて事例が紹介された。

会場からは、講師及び事例発表者への活発な意見や質問があり、参加者は里山里海における産業の創出に理解を深めた。